

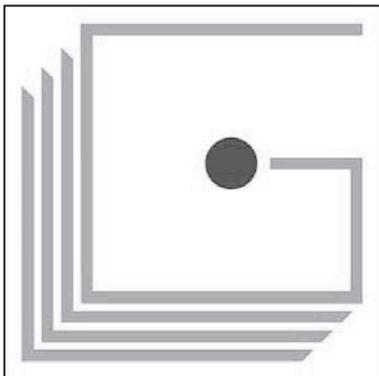
保存用

2020.4.1～2021.3.31

令和 2 年度

## 随時技能検定試験事務要領

(随時 2 級・随時 3 級・基礎級)



愛知県職業能力開発協会 技能検定課

〒451-0035

愛知県名古屋市西区浅間二丁目 3 番 14 号

電話 052(524)2039 ・ FAX 052(325)5788

ホームページアドレス <http://www.avada.or.jp>

令和 2 年 4 月作成

# 目次

はじめに	1
第1章 技能検定受検の事務手続きについて	3
1 受検に係る流れ	3
2 事務手続きの実際	4
(1) 試験実施日の電話予約	4
(2) 申請関係書類の提出	5
(3) 受検者用・技能検定委員用資料の配付等	5
(4) 試験終了後の事務	6
(5) 再試験	6
第2章 試験の実施について	8
1 秘密の保持	8
(1) 秘密の保持義務	8
(2) 秘密を保持すべき事項	9
(3) 技能検定委員の秘密文書の取扱い	9
2 技能検定委員	10
(1) 技能検定委員とは	10
(2) 技能検定委員の推薦	10
(3) 技能検定委員の選任基準	10
(4) 技能検定委員に係る留意点	12
3 試験会場の準備と試験の実施	12
(1) 会場・設備、機器、採点器具等の準備、支給材料の調達	12
(2) 実技試験の実施	14
(3) 学科試験の実施	15
(4) 合格発表	15
(5) 試験実施経費の支払い	16
第3章 受検申請について	17
1 受検申請関係書類	17
(1) 随時2級、随時3級の受検申請書類	17
(2) 基礎級の受検申請書類	17
2 受検手数料の支払い	19
3 受検申請関係書類の記載例	20
4 書類記入チェックシート	25
第4章 関係情報	26
1 よくあるご質問	26
2 試験問題コピーサービス	28
3 特例作業	29
(1) 金属プレス作業	29
(2) 集合方式で実施する作業（機械検査作業、射出成形作業）	36
(3) 実技試験材料のあっせん	37

随時2級、随時3級・基礎級技能検定試験についての受検申請・試験実施に関する準備等は、監理団体等が行ってください。

---

---

## はじめに

---

---

外国人技能実習生の技能検定（随時技能検定試験）の受検申請及び試験の実施に関する事項を本事務要領にまとめました。

随時技能検定試験は、一部の集合試験方式で実施する作業を除き、主に実習生受入企業を試験会場として、受入企業の機械設備等を利用し、個別に日程を調整して実施しています。そこで、機械設備、測定器具、試験材料の調達等試験会場の準備及び技能検定委員適任者の推薦、日程調整等について、監理団体（一次受入機関）にご協力をお願いしています。

昨年度から急激に受検申請者が増加しており、試験日程の調整に苦慮しております。監理団体等の皆様にもご迷惑をおかけしておりますが、試験日予約枠の拡大、事務処理体制の強化をはかり対応してまいりますので、何卒、御理解、御協力の程お願いします。

また、随時2級については、随時3級、基礎級と試験設備等に変更がある作業がありますので、ぜひお早めに本冊子の要領に沿って事務手続きを進めていただき、円滑に試験が実施できるようご協力をお願いいたします。

なお、随時2級、随時3級及び基礎級技能検定実技試験の職種(作業)別試験形式と合否基準をホームページ (<http://www.avada.or.jp/>) に掲載しましたので、参考にしてください。

## 令和 2 年度技能検定実施職種（作業）一覧等

職種名	作業名	職種名	作業名
さく井	パーカッション式さく井工事作業	建具製作	木製建具手加工作業
	ロータリー式さく井工事作業		印刷箱打抜き作業
鋳造	鋳鉄鋳物鋳造作業	紙器・段ボール箱製造	印刷箱製箱作業
	非鉄金属鋳物鋳造作業		貼箱製造作業
鍛造	ハンマ型鍛造作業		段ボール箱製造作業
	プレス型鍛造作業	印刷	オフセット印刷作業
機械加工	普通旋盤作業	製本	製本作業
	数値制御旋盤作業	プラスチック成形	圧縮成形作業
	フライス盤作業		射出成形作業 ※2
	マシニングセンタ作業		インフレーション成形作業
金属プレス加工	金属プレス作業 ※1		ブロー成形作業
鉄工	構造物鉄工作業	強化プラスチック成形	手積み積層成形作業
建築板金	内外装板金作業	石材施工	石材加工作業
	ダクト板金作業		石張り作業
工場板金	機械板金作業	パン製造	パン製造作業
めっき	電気めっき作業	ハム・ソーセージ・ベーコン製造	ハム・ソーセージ・ベーコン製造作業
	溶融亜鉛めっき作業	水産練り製品製造	かまぼこ製品製造作業
アルミニウム陽極酸化処理	陽極酸化処理作業	建築大工	大工工事作業
仕上げ	治工具仕上げ作業	かわらぶき	かわらぶき作業
	金型仕上げ作業	とび	とび作業
	機械組立仕上げ作業	左官	左官作業
機械検査	機械検査作業 ※2	築炉	築炉作業
ダイカスト	ホットチャンバダイカスト作業	タイル張り	タイル張り作業
	コールドチャンバダイカスト作業	配管	建築配管作業
電子機器組立て	電子機器組立て作業		プラント配管作業
電気機器組立て	回転電機組立て作業	型枠施工	型枠工事作業
	変圧器組立て作業	鉄筋施工	鉄筋組立て作業
	配電盤・制御盤組立て作業	コンクリート圧送施工	コンクリート圧送工事作業
	開閉制御器具組立て作業	防水施工	シーリング防水工事作業
	回転電機巻線製作作業	内装仕上げ施工	プラスチック系床仕上げ工事作業
プリント配線板製造	プリント配線板設計作業		カーペット系床仕上げ工事作業
	プリント配線板製造作業		鋼製下地工事作業
冷凍空気調和機器施工	冷凍空気調和機器施工作業		ボード仕上げ工事作業
染色	糸浸染作業		熱絶縁施工
	織物・ニット浸染作業	保温保冷工事作業	
ニット製品製造	丸編みニット製造作業	サッシ施工	ビル用サッシ施工作業
	靴下製造作業	ウェルポイント施工	ウェルポイント工事作業
婦人子供服製造	婦人子供既製服縫製作業	表装	壁装作業
紳士服製造	紳士既製服製造作業	塗装	建築塗装作業
寝具製作	寝具製作作業		金属塗装作業
帆布製品製造	帆布製品製造作業		鋼橋塗装作業
布はく縫製	ワイシャツ製造作業		噴霧塗装作業
家具製作	家具手加工作業	工業包装	工業包装作業

（ 5 3 職種 8 6 作業 ）

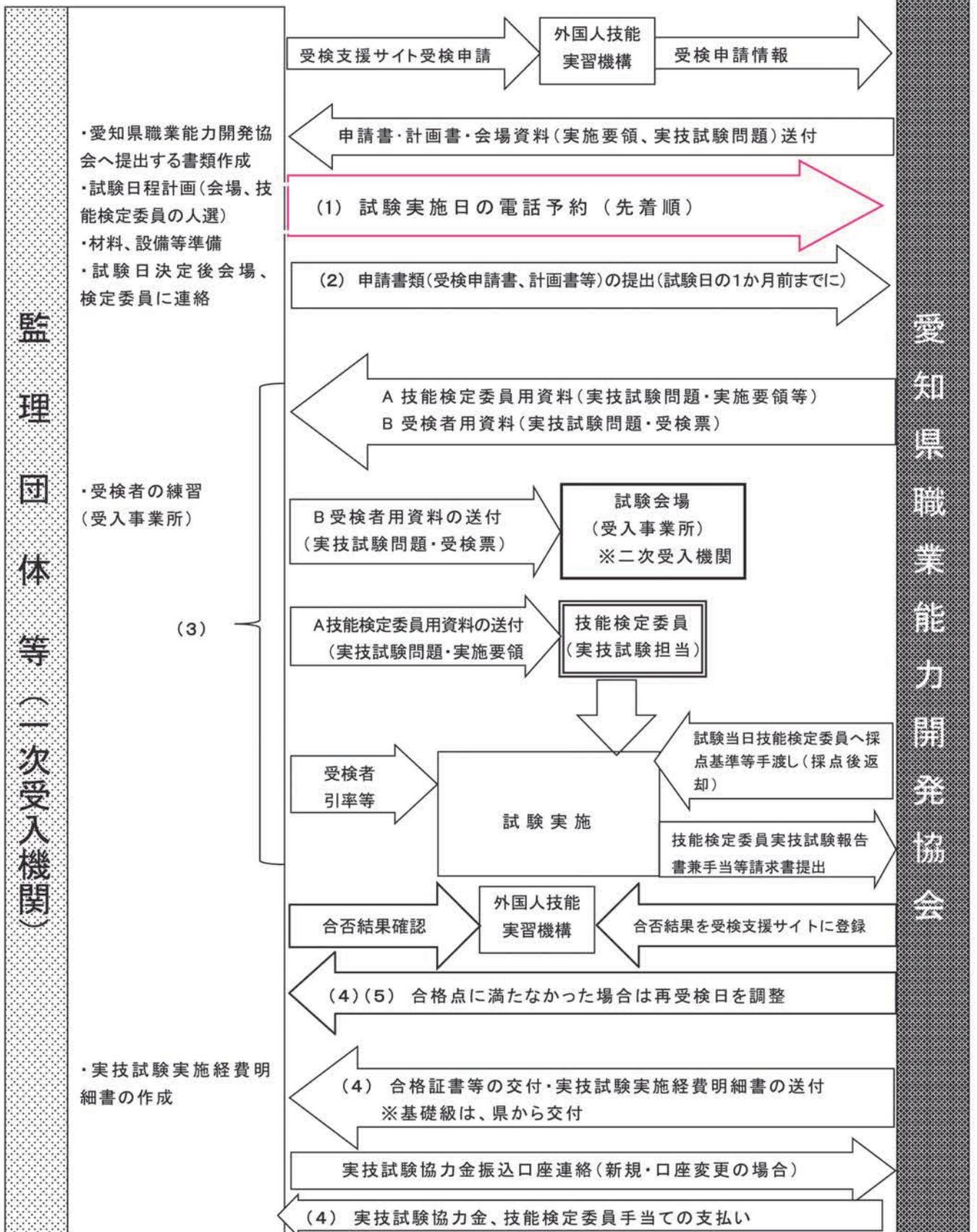
※1 金属プレス作業につきましては、P29を参照してください。

※2 機械検査作業、射出成形作業(基礎級のみ)につきましては、P36を参照してください。  
 なお、網掛けの作業につきましては、随時2級の試験は実施いたしません。

# 第1章 技能検定受検の事務手続きについて

## 1 受検に係る流れ

※ ( ) 数字は P4～6 の該当項目番号



## 2 事務手続きの実際

P3「1 受検に係る流れ」と併せてご覧ください

### (1) 試験実施日の電話予約（先着順）

#### ア 試験実施日の予約

(ア) 外国人技能実習機構から当協会へ「受検申請情報」の情報提供があり次第、監理団体（事業所）に当協会から、受検申請に必要な関係書類（申請書、計画書、会場用試験問題、実施要領等）をお送りします。

(イ) (ア)の関係書類が届いたら、速やかに当協会へ試験実施日の電話予約をしてください。（予約の際、送付書に記載の事前情報番号、等級、作業名をお知らせください。）

※ 試験スケジュールは、大変混雑していますので、ご希望の時期の予約が受けられない場合があります。できる限り早く、下記イの事前準備をした上で予約をしてください。（試験予定日は、2～3日を候補日としてください。）

- ・ (ア)の関係書類到着前に、予約はできません。
- ・ 試験実施日の目安は、実習期間終了の3か月から4か月前ぐらいですが、予約状況によっては、実習期間終了間近になる場合があります。
- ・ 試験日が設定できるのは、電話予約をいただく日の属する月の1年後の同月末までとさせていただきます。
- ・ 試験開始時間は、原則として午前9時30分で計画してください。

#### イ 電話予約時に必要な事前準備

(ア) 技能検定委員(候補者)の人選

(イ) 試験に必要な設備、機器等が確保できる会場の手配

※ (ア)、(イ)決定後に協会と協議なく変更することがないようにお願いします。

詳細は(ア)についてはP10を、(イ)についてはP12をご覧ください。

#### ウ 電話予約完了後

実技試験問題、実施要領の規定どおり、会場、設備、材料等の調達、準備をしてください。

## (2) 申請関係書類の提出(受検申請書、計画書等)

- ・ 監理団体(事業所)は、当協会から受検申請に必要な関係書類が届いた後、当協会へ試験日の予約を済ませたら申請関係書類を作成し、提出の準備をしてください。
- ・ 受検手数料を振り込み、準備した申請関係書類(P17 参照)を当協会に提出してください。

試験実施日の1か月前までに申請書類をすべて提出してください。

書類に不備等があり、試験実施日の1か月前までに申請の受付ができないと、試験が実施できない場合があります。申請書類は日程に余裕を持って提出してください。

当協会から連絡した申請書類の不備に監理団体等が対応されないときは、試験日の予約を取り消す場合があります。

## (3) 受検者用・技能検定委員用資料の配付等

### ア 申請受付後

申請書類受付後、申請書類の実施計画書で指定の送付先に、次のA、Bの封筒を送付します。

監理団体の担当者は資料到着後2日以内に封筒A、Bをそれぞれ技能検定委員、受検者にお渡しください。

A：技能検定委員用資料（実技試験実施要領・試験問題、技能検定委員手当請求書等）

技能検定委員には資料を熟読の上、試験に出席するよう依頼してください。

B：受検者用資料（受検票・試験問題）

受検票・試験問題は必ず試験会場へ持参するように連絡してください。

※ 試験実施前日までに実技試験実施要領、試験問題に基づき適切に設備等が会場に準備されているか必ず確認してください。なお、設備等の準備に不備があると試験が実施できません。

## イ 試験当日

(ア) 技能検定試験の当日は、先に実技試験を行い、その後に学科試験を実施します。

検定秘資料(採点基準及び採点用紙)は、会場に派遣した当協会職員から直接、技能検定委員へお渡しし、採点終了後回収します。

(イ) 当日、技能検定委員から「(随時2級・随時3級・基礎級)技能検定実技試験報告書兼技能検定委員手当請求書」等を提出していただきます。(銀行預金通帳の口座番号等を記入、押印いただきます)後日、当協会から技能検定委員手当をお支払いします。

### (4) 試験終了後の事務

- ・ 試験終了後、技能検定実施経費明細書(※実技試験協力金明細書)を監理団体(事業所)あてにお送りしますので、ご確認いただき、振込み口座の変更等があれば、お知らせください。当協会から指定口座に、実技試験協力金をお支払いします。

※ 実技試験協力金とは、試験実施に関する経費について、当協会の規定額を試験実施後にお支払いするものです。

- ・ 合否の判定は、試験実施日から2週間以内に外国人技能実習機構の受検支援サイトに登録しますので、同サイトで御確認ください。
- ・ 監理団体(事業所)あてに、当協会から後日、合格証書等をお送りします。但し、基礎級は県から送付されます。

※ 受検者の得点が合格点に満たなかった場合は、再試験の日程調整の電話連絡はいたします。

### (5) 再試験

学科試験、実技試験の一方又は両方の不合格者は、1回に限り再受検することができます。

なお、合格点に満たなかった場合は、再受検の日程調整のため、原則として試験終了後1週間以内に監理団体(事業所)あてにご連絡します。

下記ア～エに留意の上、当協会が指定する日までに、申請書類の提出をお願いします。なお、申請書類が提出されない場合は、受検できません。

## ア 試験の免除

初回の試験で学科試験又は実技試験に合格された方は、合格した試験が免除されます。

## イ 提出書類（初回の試験に準じます。）

- ・ 受検申請書
- ・ 実施計画書
- ・ 受検手数料の振り込みが確認できる書類（振込用紙のコピー等）
- ・ 履歴書（再試験で新規技能検定委員を推薦する場合）
- ・ 会場案内図

## ウ 試験会場

原則として学科試験は当協会（愛知県職業訓練会館）で実施します。

## エ その他

基礎級は、再試験が不合格の場合は、技能実習1号から2号への移行はできません。

随時3級は、再試験で実技試験が不合格の場合は、技能実習2号から3号への移行ができません。十分な試験対策を行い、受検に臨まれるようお願いします。

### 実技試験の形式について

実技試験は、職種(作業)により次の3形式のうち、いずれか1又は複数の形式により実施されます。

#### 1 製作等作業試験

受検者に材料等を提供、貸与等して実際に物を製作、組立て、調整等の作業を行わせることにより技能の程度を評価します。

#### 2 判断等試験

受検者に対象物又は現場の状態、状況等を原材料、標本、模型、写真、ビデオ等を用いて提示し、判別、判断、測定等を行わせることにより技能の程度を評価します。

#### 3 計画立案等作業試験

受検者に現場における実際的な課題等を、紙面を用いて、表、グラフ、図面、文書等によって提示し、計算、計画立案、予測等を行わせることにより技能の程度を評価します。

---

## 第2章 試験の実施について

---

### 1 秘密の保持

故意、過失を問わず、検定秘が外部に漏洩してしまうと、当県のみならず、他都道府県で実施された同作業の技能検定試験の有効性が問われる可能性があり、その影響は多大なものとなります。

技能検定の実施に携わる者及び携わった者は、職務上知ることができた秘密事項について、次のとおり秘密保持義務が課せられますので取扱いには十分にご留意ください。

#### (1) 秘密の保持義務

職業能力開発促進法第100条により、下記の同法第89条第1項の規定に違反した者は、6か月以下の懲役又は30万円以下の罰金に処せられます。

職業能力開発促進法（抜粋）

#### 第89条第1項

都道府県協会の役員若しくは職員（都道府県技能検定委員を含む。）又はこれらの職にあった者は、第82条第2項の規定により都道府県協会が行う技能検定試験に関する業務に係る職務に関して知り得た秘密を漏らし、又は盗用してはならない。

#### 第89条第2項

第82条第2項の規定により都道府県協会が行う技能検定試験に関する業務に従事する都道府県協会の役員及び職員は刑法その他の罰則の適用については、法令により公務に従事する職員とみなす。

## (2) 秘密を保持すべき事項

- ア 実技試験の試験問題及びその正解並びに学科試験の試験問題及び正解。  
ただし、事前に公表したもの及び試験終了後公開したもの除く。
- イ **実技試験採点基準（実技試験採点用紙及び得点表を含む。）**
- ウ 実技試験及び学科試験の答案。
- エ 実技試験の作品。ただし、採点を終えた後は受検者に返却することとされているものであって、当該採点を終えたものを除く。
- オ 技能検定試験の合否。ただし、合格発表したものを除く。
- カ 受検者の氏名。ただし、合格発表に用いたものを除く。
- キ 受検者の得点。ただし、合格発表後受検者個人の得点をその本人に知らせる場合を除く。
- ク その他受検者の職歴（学歴、訓練歴を含む。）、所属事業所等、個人情報であって、当該個人を特定できる可能性があるもの。
- ケ その他厚生労働省人材開発統括官、都道府県知事、中央協会会長又は都道府県協会会長が秘密事項に定めたもの。

## (3) 技能検定委員の秘密文書の取扱い

- ア 当該文書の複製や内容転記等を行わないこと。
  - イ 当該文書を第三者に見られる恐れのある場所に放置しないこと。
  - ウ 当該文書の持ち運びには、紛失等の事故が無いように十分注意すること。
  - エ 当該文書の紛失等の場合は、その旨を速やかに愛知県職業能力開発協会に報告すること。
- 以上に反した場合は、技能検定委員を解任されることがあります。

## 2 技能検定委員

### (1) 技能検定委員とは

実技試験会場における実技試験の実施の任にあたり、試験会場における設備の点検、受検者に対する指示、採点等を行う者です。技能検定委員は、「技能検定に関し高い識見を有する者であって、当該検定職種（作業）について専門的な技能、技術又は学識経験を有する者」の中から愛知県職業能力開発協会会長が選任し、その身分は愛知県職業能力開発協会非常勤職員とされます。

### (2) 技能検定委員の推薦

技能検定委員は、当該検定職種に関して、(3)の技能検定委員の選任基準に該当する方を監理団体等から推薦いただき、書類審査（履歴書）の上、当協会会長が選任します。

### (3) 技能検定委員の選任基準

#### ア 基礎級の技能検定委員

次のいずれかに該当する者

- (1) 当該検定職種又は当該検定職種に関連する検定職種の特級、1級又は2級の技能検定に合格した者
- (2) 当該検定職種又は当該検定職種に関連する検定職種に関し10年以上の実務経験又は教育訓練の経験を有する者
- (3) 事業所等において、当該検定職種又は当該検定職種に関連する職種に関する管理部門、技術部門若しくは教育訓練部門の課長級以上の地位にある者又はこれらの地位にあった者
- (4) 短期大学（高等専門学校及び旧専門学校を含む。）以上の学校、応用課程若しくは専門課程の高度職業訓練、特定応用課程若しくは特定専門課程の高度職業訓練、長期課程又は、短期養成課程若しくは長期養成課程の指導員訓練において、

当該検定職種又は当該検定職種に関連する職種に関する学科を修めて卒業又は  
修了した者

(5) 当該検定職種又は当該検定職種に関連する職種の職業訓練指導員免許を有する者

(6) 国、都道府県、中央協会又は都道府県協会において、技能検定の実施の実務に5  
年以上従事した者

(7) 上記(1)から(6)に掲げる者と同等以上の技能、技術又は学識経験を有する者

## イ 随時2級及び随時3級の技能検定委員

次のいずれかに該当する者

(1) 当該検定職種(作業)の特級、1級の技能検定に合格した者であって、当該検定職種  
(作業)に関して15年以上の実務経験又は教育訓練の経験を有する者(技能系)

ただし、3級の場合は、当該検定職種(作業)の特級、1級の技能検定に合格した者  
であって、当該検定職種(作業)に関して5年以上の実務経験又は教育訓練の経験を  
有する者及び、当該検定職種(作業)の2級の技能検定に合格した者であって、当該  
検定職種(作業)に関し10年以上の実務経験又は教育訓練の経験を有する者(技能系)

(2) 事業所等において、当該検定職種(作業)に関する管理部門、技術部門若しくは  
教育訓練部門の課長級以上の地位にある者又はこれらの地位にあった者で、特級、  
1級に合格した者と同等以上の技能又は技術を有する者(技術系)

(3) 短期大学(高等専門学校及び旧専門学校を含む。)以上の学校、応用課程若しくは  
専門課程の高度職業訓練(旧養成訓練を含む。)、特定応用課程若しくは、特定専門  
課程の高度職業訓練、長期課程又は短期養成課程若しくは長期養成課程の指導員訓  
練において、当該検定職種(作業)に関する学科を修めて卒業又は修了し、その後  
当該検定職種(作業)に関し10年以上(3級の場合は5年以上)の学識経験を有  
する者(学識経験には、学校、職業能力開発校(旧職業訓練校を含む。)、職業能力  
開発大学校等において教育・訓練を行った経験を含む。)で、特級、1級に合格した  
者と同等以上の技能又は技術を有する者(学識系)

(4) 上記(1)から(3)までに掲げる者と同等以上の技能、技術又は学識経験を有する者

#### (4) 技能検定委員に係る留意点

技能検定委員に関する留意点をまとめましたので、技能検定委員として推薦する前に、候補者に了解をいただいでください。なお、**受検者の所属する企業の方は選任できません。**

ア 技能検定業務に係る秘密保持義務が課されていること。

イ 原則として1回の実技試験で受検者数が10人未満の場合、技能検定委員は1人でも差し支えないものとするが、10人以上の場合は、複数名とすること。

なお、複数名とした場合は、その中の1人を首席技能検定委員とすること。

ウ 当該年度に行われる当該検定職種の実技試験は受検できないこと。

ただし、特級以外の技能検定委員であって、かつ、中央技能検定委員を兼任していない場合に限り、当該検定職種に係る特級の受検は認めることとする。

エ 技能検定委員は、当該検定職種（作業）の実技試験に先立って各種団体や事業所が実施する 技能検定実技試験、学科試験に係る事前講習会や事前教育の講師とならないばかりか居合わせてもならないこと、及びこれらに係る教育関係資料の作成に一切関与しないこと。

オ 実技試験採点基準（検定秘）については、技能検定委員限りとし、試験開始から終了まで、他人の目に内容が触れないように留意すること。また、**実技試験採点基準は、試験終了後必ず当協会職員へ返却すること。**

### 3 試験会場の準備と試験の実施

#### (1) 会場・設備、機器、採点器具等の準備、支給材料の調達

技能検定試験は、原則として実技試験と学科試験を同一会場で同一日に実施します。

下記にご留意のうえ、試験実施の前日までに準備してください。

## ア 実技試験関係

監理団体等は、当協会が集合試験を実施している職種（作業）※を除き実技試験実施要領及び実技試験問題に基づき、準備、調達、設営及び管理を行うこと。

なお、下表の職種（作業）については、実技試験受検時に免許、特別教育が必要になりますので、試験当日に携帯していなければ受検できません。

（※機械検査作業、射出成形作業（基礎級のみ）P36 参照）

### 免許、特別教育等が必要な職種（作業）

No.	職種（作業）名	等級	該当内容	試験当日の対応
1	金属プレス（金属プレス作業）	随時2級 随時3級	動力プレスの金型取付け等	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告書への署名
2	鉄工（構造物鉄工作業）	随時2級 随時3級	ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能講習修了証等の資格証の確認
			アーク溶接	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告書への署名
3	工場板金（機械板金作業）	随時2級 随時3級 基礎級	動力プレスの金型取付け等	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告書への署名
4	電気機器組立て（変圧器組立て作業）	随時2級	ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能講習修了証等の資格証の確認
5	冷凍空気調和機器施工（冷凍空気調和機器施工作業）	随時2級	ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能講習修了証等の資格証の確認
6	製本（製本作業）	随時2級	動力プレス機械のシャアの刃部取付け等	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告書への署名
7	とび（とび作業）	随時3級 基礎級	足場の組立て、解体又は変更	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告書への署名
8	配管（プラント配管作業） ※配管用炭素鋼管で実施する場合に限る	随時2級	ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、ガス溶接技能講習修了証等の資格証の確認
			アーク溶接	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告書への署名
9	コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）	随時3級	車両系建設機械（コンクリート打設用）の作業の操作	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告書への署名
10	内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）	随時2級	研削といし（高速といし）の取替え等	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告書への署名
11	サッシ施工（ビル用サッシ施工作業）	随時2級	アーク溶接	特別教育受講修了証等の確認又は自己申告書への署名

## イ 学科試験関係

- ・会場となる個室、会議室
- ・筆記用具

・ 受検者分の机

・ 時計

・ 椅子

・ ホワイトボード（黒板）

## （２） 実技試験の実施

実技試験は、「実技試験実施要領」及び「実技試験問題」に従って適正に実施してください。技能検定委員には、事前に資料を熟読の上、試験をご担当くださるよう依頼してください。

なお、試験用の設備・材料等は、「実技試験実施要領」及び「実技試験問題」で指定されているとおり準備してください。勝手な判断で別のもので代用することは禁止されています。また、判断等試験、計画立案等作業試験がある作業については、試験問題等は当日、当協会職員が持参します。

### ア 実技試験開始前の留意点

原則として、技能検定試験の当日は、先に実技試験（製作等作業試験・判断等試験・計画立案等作業試験）を行い、終了後に一斉に学科試験を行います。

当日、当協会の職員が試験会場に出向きます。検定秘の実技試験採点基準及び得点表、採点用紙は、当協会職員から、技能検定委員へ直接お渡しします。技能検定委員には、試験開始から終了まで、内容が他人の目に触れないように留意していただきます。また、実技試験採点基準と得点表、採点用紙は、試験終了後必ず当協会職員に返却していただきます。（採点用紙は未使用分も含め受け取った用紙は全て提出していただきます。）

その他の留意事項は次のとおりです。

- (ア) 技能検定委員は受検者の受付を行い、写真票により受検者の確認をすること。
- (イ) 技能検定委員は、試験実施に支障がないか試験会場を点検し、実技試験実施要領及び実技試験問題のとおり試験の準備が整っているか確認すること。
- (ウ) 技能検定委員は、受検者が一見して判断できるよう必ず腕章を着用すること。

(エ) 技能検定委員は、注意事項を読み上げるなどし、試験実施上の必要な諸注意について受検者に説明すること。その後、受検者から質問等を受け付けること。

(オ) 試験は、すべて日本語で行うものとする。**技能検定委員、当協会職員以外は、試験場に入室させてはならないこと。**受検者に対しても、日本語以外での発言は禁止すること。

なお、実技試験においては、**受入れ事業所等の者が受検者に手を貸したり、話しかけたり、合図をしたりすることは不正行為となること。**

#### イ 試験中及び終了後の留意点

(ア) 採点は、当該職種(作業)の実技試験「採点基準」に基づき、技能検定委員が行うものとする。

(イ) 作品の提出を受ける際には、受検番号や受検者氏名を確実に照合すること。

(ウ) 技能検定委員は、成績を記入した得点表、採点用紙を点検し、署名押印の上、採点基準と一緒に当協会職員に提出すること。

### (3) 学科試験の実施

学科試験は、下記の要領で実施しますので、適正に試験の実施ができるよう試験会場の手配をお願いします。

ア 試験は当協会職員が行います。

イ 試験は、全て日本語で行います。

ウ 受検者に対しても、日本語以外での発言は禁止します。

エ 試験中は、試験係員及び受検者以外の者（監理団体の通訳者等含む）の学科試験会場（会議室等）への入室は認めません。

オ 原則として、実技試験終了後に行いますが、スケジュールの都合により学科試験から行う場合があります。

#### (4) 合格発表

- ア 合格証書は、試験実施日より、月の10日、20日、末日で締め、  
1～2か月間程度後に監理団体（事業所）あてに送付します。
- イ 学科試験、実技試験の一方、又は両方の不合格者は、1回に限り再受検することができます。なお、受検した試験が合格点に満たなかった場合は、再受検の日程調整のため、原則として試験終了後1週間以内に監理団体（事業所）あてご連絡いたします。

#### (5) 試験実施経費の支払い

- ア 試験実施に関する経費について、当協会の規定額をお支払いします。
- イ 試験終了後に、「技能検定実施経費明細書」を実施計画書の「監理団体等」の送付先に郵送します。  
なお、合格証書送付時に同封しますので、実施日から2か月程度後に届くこともありますので、ご了承ください。
- ウ 振り込みは、すでに登録されている口座に送金させていただきます。新規に試験を実施された場合や振込口座を変更される場合は、通帳の表紙の裏ページをFAX又は電子メールでお送りください。  
ただし、口座名義は、監理団体等一次受入機関名義の口座としてください。
- ※ 振り込みは、明細書発行日の翌月月末を予定しています。

## 第3章 受検申請について

### 1 受検申請関係書類

次に定める書類を、記入・印鑑もれのないようにご確認の上、試験実施日の1か月前までにご提出ください。（P3「1 受検に係る流れ」（2）で提出する書類）

#### (1) 随時2級・随時3級の受検申請書類

随時級の技能検定試験の申し込みには、下記の書類が必要です。

ア 随時2級・随時3級技能検定受検申請書（記載例 P20 参照）

イ ・随時2級申請の場合

随時3級技能検定合格証書又は実技試験合格通知書の写し

・随時3級申請の場合

基礎級技能検定合格証書の写し

ウ 随時2級・随時3級技能検定実施計画書（記載例 P22 参照）

※ 会場が複数の場合はコピーして使ってください。

（1会場1作業につき1枚の作成が必要です。）

エ 履歴書（新規技能検定委員のみ提出）（記載例 P23 参照）

※ 1 必ず、「技能検定委員」（P10）をご参照の上、選任基準が確認できるよう記入してください。

※ 2 受検者が10名以上の場合は、原則2名以上必要です。

※ 3 過去に技能検定委員で選任された方も担当作業の等級が初めての場合は、改めて提出が必要です。

オ 試験会場案内図（記載例 P24 参照）

※ 会場は愛知県内であれば、受検者所属事業所以外での実施も可能です。

カ 受検手数料の振り込みが確認できる書類（振込用紙のコピー等）

#### ご注意

会場及び技能検定委員は、監理団体等（一次受入機関）でご用意ください。

#### (2) 基礎級の受検申請書類

基礎級技能検定試験の申し込みには、下記の書類が必要です。

ア 基礎級技能検定受検申請書（記載例 P21 参照）

イ 基礎級技能検定実施計画書（記載例 P22 参照）

※ 会場が複数の場合はコピーして使ってください。

（1会場1作業につき1枚の作成が必要です。）

ウ 履歴書（新規技能検定委員のみ提出）（記載例 P23 参照）

※ 1 必ず、「技能検定委員」（P10）をご参照の上、選任基準が確認できるよう記入してください。

※ 2 受検者が 10 名以上の場合は、原則 2 名以上必要です。

エ 試験会場案内図（記載例 P24 参照）

※ 会場は愛知県内であれば、受検者所属事業所以外での実施も可能です。

**ご注意**

会場及び技能検定委員は、監理団体等（一次受入機関）でご用意ください。

オ 受検手数料の振り込みが確認できる書類（振込用紙のコピー等）

試験実施日の 1 か月前までに申請書類を完全にそろえて提出してください。

なお、不備等への対応のためにも、余裕を持って提出してください。

試験実施日の 1 か月前までに申請書類の不備が修正されない場合は、試験日の予約を取消す場合があります。

※ どうしても送付できない事情がある場合は、必ず事前にご連絡ください。

※ 技能検定実施計画書が提出された後、試験日の変更はできません。

### 受検申請区分について

技能検定の受検申請区分は下表のとおりです。

A 区分は免除資格のない方による申請で、受検を希望される試験により、A 甲、A 乙、A 丙に区分されます。

同じ実技試験受検希望の申請者でも、学科合格の後、再試験の申請は「C」区分、実技試験だけ受検を希望される場合（随時 2 級及び随時 3 級試験で実技試験だけ受検される場合等）は「A 丙」の区分で申請することになります。

申請区分名	A 甲	A 乙	A 丙	B	C	D
実技試験	○		○	免除	○	免除
学科試験	○	○		○	免除	免除
免除資格	なし			実技合格	学科合格等	実技学科合格等

※ ○はその試験を受検することを示す。

## 2 受検手数料の支払い

下記銀行口座に振り込みの上、振り込み証明書類のコピーを申請関係書類に添付してください。

インターネットバンキング等を利用の場合は、振り込みが証明できる画面のコピー等で結構です。

受検手数料の支払いの確認がとれるまで申請の受付を行いませんので、必ず申請書類に添付してください。

**お支払いいただきました受検手数料は、いかなる理由があっても返還できませんので、ご了解ください。**

金額等は下記によりご確認の上、お振り込みくださるようお願いいたします。

ご不明の場合は、事前に電話（052-524-2039）でお問い合わせください。

**※複数の試験実施分の手数料をまとめて、振り込みされる場合は、必ず実施日ごとの内訳がわかる資料を添付ください。（実施日、手数料、受検等級、作業、受け入れ企業等）**

### 記

#### 1 受検手数料（受検者1人あたり）

	学科試験	実技試験	合計
全等級の全作業	3,100円	18,200円	21,300円

#### 2 振込銀行口座

三菱UFJ銀行 浄心支店 普通預金 3153298  
(あいちけんしょくぎょうのうりよくかいはつきょうかい)  
名義：愛知県職業能力開発協会

※恐れ入りますが、振り込み手数料は、ご負担ください。

### 3 受検申請関係書類載例

(※様式は変更になる場合がありますのでご確認ください。)

#### ・ 随時3級受検申請書

記入にあたっては、表中の赤字部分を記入してください。

記入見本

#### 随時3級学科 実技試験写真真票

検定職種	めつき
作業名	電気めつき
受検番号	※A甲・A乙・A丙・B・C
フリガナ	フリガナ(カタカナ)
氏名	〇〇〇〇
生年月日	〇年〇月〇日
所属事業所名	〇〇〇〇〇
監理団体名 (一次受入機関名)	監理団体名・電話番号を記入 電話( ) - ( ) - ( ) - ( ) - ( ) - ( ) 電話番号( ) - ( ) - ( ) - ( ) - ( ) - ( )

試験を受検する方は、  
タテ(4cm)×ヨコ(3cm)の  
写真の裏面に、  
写真の裏面に、  
氏名を書いて全面にノリ  
をつけて貼ってください。

写真  
写す  
写真の裏に  
作業・氏名を  
記入

申請書6ヶ月以内に  
撮影した写真使用。  
半身像のものとする。

#### 随時3級技能検定受検申請書

記載例(※記載例の様式は変更になる場合がありますのでご確認ください。)

必ず受検者本人が記入

氏名 (Signature)	氏名 〇〇〇〇〇〇〇〇 (アルファベット表記)
受検番号	※A甲・A乙・A丙・B・C
作業名	電気めつき
フリガナ(カタカナ・ビン音)	フリガナ(カタカナ・ビン音) 〇〇〇〇〇 (アルファベット表記)
生年月日 年齢・性別	〇年〇月〇日(〇〇才) 男・女 籍 国 名を記入
電話番号	〒 〇〇〇〇-〇〇〇〇 電話( ) - ( ) - ( ) - ( ) - ( ) - ( )
現在所	現在所・電話番号を記入
所在地	所在地
在学期間	在学期間 年 月 / 年 月 卒業
実習期間	実習期間 年 月 / 年 月
実習内容	実習内容 受入企業名・所在地・期間を記入(未記入でも可) 受入企業名・所在地・電話番号・実習内容を記入
監理団体名 (一次受入機関名)	監理団体名・担当携帯番号を記入 担当携帯電話( ) - ( ) - ( ) - ( ) - ( ) - ( ) 番
基礎技能検定合格 検定職種・作業名・合格年月日・番号	めつき 〇年〇月〇日 第〇〇〇〇号 資格判定 ※
入国年月日	在留期間(雇用関係終了予定日) 〇年〇月〇日
試験の免除	試験の免除 実技試験 〇年〇月〇日 実技 ※ 学科試験 〇年〇月〇日 学科 ※
受検区分	受検区分 A甲 実技・学科とも受検 A乙 学科のみ受検(免除なし) A丙 実技のみ受検(免除なし) B 学科受検(実技免除) C 実技受検(学科免除)

本人署名

愛知県知事殿  
技能検定を受検したいので申請します。

在留カードをコピーして  
貼り付けてください。

顔写真および文字が判断できるように、  
在留カードをコピーして貼付け  
(顔写真のある面のみ)

該当項目を丸で囲む

貼付けた在留カードと同一になるよう  
正確に記載

#### 記入上の注意

- ※印の欄にはなにも記入しないこと。
- 記入にあたってはすべてインキ又はボールペンを用い、数字は算用数字を用いて、ていねいに書くこと。特に、氏名は、在留カードの氏名と同一の記載となるよう正確に記入し、その写しを指定枠内に貼り付けること。
- 検定職種欄には、受検を希望する検定職種名を記入し、作業名の欄には、受検しようとする選択科目に対応する作業名を記入すること。
- 学歴欄には記入の必要はない。
- 実習歴の欄の実習内容の項には、実習内容をできるだけ具体的に記入すること。
- 監理団体名欄には受入団体名を、受入れが事業所の場合は事業所名を記入すること。
- 試験の免除の欄には、実技試験又は学科試験の免除を受けたい年月日及び番号を記入すること。  
なお、申請の際には関係書類を添付すること。
- 写真の裏には本人が受検する氏名を必ず記入の上、貼り付けること。
- 記入した事項に不正があった時は、合格を取り消す場合があること。

※基礎技能検定合格証書の写しを添付してください。  
※基礎技能検定合格証書の写しを添付してください。

#### 随時3級技能検定学科 実技試験受検票

検定職種	めつき
作業名	電気めつき
受検番号	※A甲・A乙・A丙・B・C
所属事業所名	〇〇〇〇〇
監理団体名 (一次受入機関名)	監理団体名を記入

#### 愛知県職業能力開発協会

〒451-0035 名古屋 市南区岩塚二丁目3番14号  
愛知県職業能力開発協会内 電話(052)524-2039(直電)

住所 〇〇〇〇-〇〇〇〇

氏名 〇〇〇〇〇〇〇〇 (アルファベット表記)

試験日 〇年〇月〇日

開始時間 〇時〇分

試験場 〇〇〇〇

試験時間 〇時〇分

試験場 〇〇〇〇

試験日 〇年〇月〇日

開始時間 〇時〇分

試験場 〇〇〇〇

試験時間 〇時〇分

試験場 〇〇〇〇

試験日 〇年〇月〇日

開始時間 〇時〇分

試験場 〇〇〇〇

試験時間 〇時〇分

試験場 〇〇〇〇

試験日 〇年〇月〇日

開始時間 〇時〇分

試験場 〇〇〇〇

#### 試験受検上の注意

- 受検の際は必ず本票を持参してください。
  - 筆記用具(鉛筆、消しゴム)・作業衣及び実技試験問題用特許工具等一覧表に記されているものを持参してください。
- なお、実技試験問題にはメモ等を記入しないこと。





・履歴書（技能検定委員用）（新規の方は必ず提出してください。）

記入見本

該当級に○を付ける

\*は記入不要

履歴書(随時2級・随時3級・基礎級)

* 技能検定委員選任基準						
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)

推薦団体 事業所名	○ ○ ○ ○ 協同組合 ←監理団体名を記入。					
担当職種	職種名	作業名			職種・作業番号	
	機械加工 職種	普通旋盤作業			*	
	職種	作業			*	
フリガナ	アイチ	タロウ	生年月日		年齢	
氏名	姓 愛知	名 太郎	昭和 平成	〇〇年 〇〇月 〇〇日	〇〇 歳	
本人 現住所	〒987-6543 名古屋市西区浅間〇丁目〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇 - 〇〇〇〇					
所属	事業所名/ 部署・職名	〇〇工業株式会社 / 〇〇課 課長				
	所在地	〒987-4321 名古屋市中区二の丸〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇 - 〇〇〇〇				
最終学歴	(学校名・ 学科名等)	〇〇高等学校 学部 〇〇〇学科		昭和・平成	〇〇 年 〇〇 月 卒業	
訓練歴	(訓練施設・ 訓練科名)	〇〇〇職業能力開発校 〇〇〇科		昭和・平成	〇〇 年 〇〇 月 修了	
選任 基準 の 根拠 ※2	職種に関する技能検定・1級・2級合格、指導員免許取得					
	職種(作業名)	合格年月		合格番号		
	機械加工(普通旋盤作業)	〇〇 年 〇〇 月		第 〇 〇 〇 号		
	職種に関する実務経験・学識経験					
	職種名・所属名 ※3	期 間			年 数	
	機械加工 〇〇工業株式会社	〇〇 年 〇〇 月 ~ 〇〇 年 〇〇 月 現在に至る			年	
	機械加工 〇〇精機	〇〇 年 〇〇 月 ~ 〇〇 年 〇〇 月 現在に至る			年	
職種に関する役職(管理・技術・教育部門の課長級以上)						
役職名 ※1	期 間					
〇〇〇〇課 課長	〇〇 年 〇〇 月 ~ 〇〇 年 〇〇 月					
私は、職業能力開発促進法を遵守し、愛知県技能検定実技試験の技能検定委員になることを承諾します。 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 氏名 愛知太郎 印						

※1役職名は選任基準の判定に必要な可能な限り具体的にご記入ください。役員の方も「〇〇担当役員」等、管理・技術・教育部門の別が判定できるようご記入ください。

※2「選任基準の根拠」欄は推薦される職種に関する履歴等を該当項目全てについてご記入ください。選任基準については、別紙をご覧ください。

※3職種名・所属名は、複数の事業所での実務経験がある場合、事業所ごとに記入ください。

・試験会場案内図（新規の場合は必ず提出してください。）

当協会の職員が会場に出向くのに用いますので、丁寧に作成して下さるようお願いいたします。

## 技能検定試験会場案内図

会場名	〇〇〇〇株式会社	実施計画書に記載の会場・住所と同じか確認してください
所在地	〇〇市〇〇町〇〇番地	電話(〇〇〇) 〇〇〇- 〇〇〇〇
<div style="border: 2px solid #e91e63; padding: 50px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="font-size: 24px; color: #e91e63; margin: 0;">地図を貼り付けてください</p> </div>		
交通案内	最寄り駅	
	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px;"> <p>鉄道（JR・名鉄・近鉄・地下鉄） 〇 〇 駅</p> <p>バス（JR・名鉄・その他 _____） _____ 停</p> </div>	<p>最寄り駅より 徒歩・車 〇 分</p>

## 4 書類記入チェックシート

★ 提出前にもう一度、各項目をチェックしてください！

1. 技能検定受検申請書(随時2級:青色の用紙 随時3級:緑色の用紙 基礎級:黄色の用紙)	
※印の欄以外に、記入漏れはありませんか？	<input type="checkbox"/>
本人の署名がありますか？	<input type="checkbox"/>
職種・作業名は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
氏名・フリガナ(中国の場合、ピン音も必要です)は、記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
生年月日・性別・国籍は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
現住所は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
実習歴は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
合格事項が正確に記載されていますか？(随時2級、随時3級)	<input type="checkbox"/>
監理団体名は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
確認事項の入国年月日は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
在留カードの写しは、添付欄に貼り付けてありますか？	<input type="checkbox"/>
上記の写しは、文字や顔写真が判別できる状態ですか？	<input type="checkbox"/>
試験の免除、受検区分欄は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
写真票・受検票(右票)に記入漏れはありませんか？	<input type="checkbox"/>
写真票(右票)に写真が貼ってありますか？	<input type="checkbox"/>
2. 技能検定実施計画書	
申込者は第一次受入機関で、代表者職名・氏名及び代表者印はありますか？	<input type="checkbox"/>
作業名は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
受検人数(国籍)及び実技1回の人数・回転数は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
実施年月日・時間は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
実施会場名・住所・会場経験は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
受検区分、受検申請者数及び受検手数料は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
事務連絡先・郵送先・担当者は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
技能検定委員推薦書は記入されていますか？	<input type="checkbox"/>
技能検定委員は、過去に当県で当該級の技能検定委員経験がある方ですか？	<input type="checkbox"/>
YES → 履歴書は必要ありません。	
NO → 履歴書が必要になります。	
* 印の欄以外は、記入漏れはありませんか？	<input type="checkbox"/>
選任基準が判断できるように履歴書は記入してありますか？	<input type="checkbox"/>
履歴書は原本で、押印してありますか？	<input type="checkbox"/>
3. 試験会場案内図	
実施計画書に記載の会場、住所と同じですか？	<input type="checkbox"/>
問合せ先電話、交通案内欄の記入漏れはありませんか？	<input type="checkbox"/>
4. 受検料の振込みが確認できる書類	
振込用紙の写し等は添付しましたか？(振り込み金額の内訳をご記入ください。)	<input type="checkbox"/>
※入金の確認がとれないと、申請書の受理が遅れますのでご了承ください。	
5. 技能検定合格を確認できる書類	
随時2級受検申請添付書類:随時3級技能検定合格証書の写し又は実技試験合格通知書の写しを添付しましたか？	<input type="checkbox"/>
随時3級受検申請添付書類:基礎級技能検定合格証書の写しを添付しましたか？	<input type="checkbox"/>

---

## 第4章 関係情報

---

### 1 よくあるご質問

Q 1. 試験準備のための参考書や問題集はありませんか。

A 2. 過去に実施された試験問題については、コピーサービスを行っておりますので P28 をご参照ください。

Q 2. 試験会場および技能検定委員は誰が手配するのですか。

A 2. 一部作業を除き、受検者側（受入団体、事業所等）でお探しいたします。  
金属プレス作業については、P29 以降をご参照ください。

Q 3. 技能検定委員は、退職者でも可能ですか。

A 3. はい。退職者であれば、受入企業に勤務されていた方でも結構です。  
但し、退職後嘱託等で勤務されている方は選任できません。

Q 4. 申請書類はいつまでに提出するのですか。

A 4. 試験実施日の 1 か月前までに、受検手数料の振り込みが確認できる書類（振込用紙のコピー）及び技能検定合格を確認できる書類（随時 2 級、随時 3 級受検申請時の場合）と一緒に提出してください。

Q 5. 試験会場はどこでもよいのですか。

A 5. 愛知県内であり、実技試験実施要領等で定める基準を満たしていれば、受入企業以外の場所でも可能です。

Q 6. 試験材料等はどこで手に入ればよいのですか。

A 6. 一部作業には試験材料を販売する団体があります。P37 「(3) 実技試験材料のあっせん」をご参照ください。  
記載がない場合には、監理団体等で調達していただきます。

Q 7. 金属プレス作業の金型の予約はどうすればよいのですか。

A 7. P29 「(1) 金属プレス作業」以降をご参照いただき、試験日を電話予約する際に、金型物品借用の申込みをしてください。

金型の予約は、金型の借用願（名古屋高等技術専門校以外で受検する場合）（名古屋高等技術専門校で受検する場合）を当協会へ提出していただきます。

Q 8. 学科試験はだれが担当するのですか。

A 8. 当協会の担当者です。試験日当日は、実技試験の開始から立ち会います。

Q 9. 試験開始時間は変更できますか。

A 9. 原則として午前9時30分としています。ただ、受検人数が多い等の特殊理由がある場合には考慮させていただきます。お電話でご相談ください。

Q10. 試験日を変更することができますか。

A10. 実施計画書関係書類等が提出された後は、基本的に受検者や監理組合等の都合で変更することはできません。

Q11. 試験当日病気等でどうしても出席できない場合、受検手数料は返してもらえますか。

A11. お支払いいただきました受検手数料は、理由の如何を問わず返還することはできません。

## 2 試験問題コピーサービス

### ○申込方法等

過去に実施された随時2級、随時3級、基礎級の実技試験・学科試験問題を販売しています。随時試験技能検定試験問題コピーサービス申込書（当協会ホームページから印刷してご使用ください）に必要事項を記載し、ファクシミリでご注文ください。提供できる試験問題の出題年度等については申込書をご覧ください。

※申込書は、令和2年5月以降に変更となる場合があります。

【 注文 FAX 番号 052-325-5788 】

### ○手数料

提供する級、職種（作業）ごとに次の額を手数料としていただきます。

区 分		手数料の額（税込み）
学科試験	学科試験問題＋正解	1部 500円
実技試験	実技試験問題	1部 500円

### ○手数料のお支払い方法

#### 【会員】

代金引換又は納品後銀行振り込み。送付をご希望の場合は、申込書の所在地に送料無料でお送りします。

#### 【非会員】

代金引換又は先払い。送付をご希望の場合は、事前に申込書とともに試験問題の手数料と送料の合計金額を現金書留で送金してください（銀行振込不可）。

〈送料〉 1～9部：500円      10部以上：1000円

### ○禁止行為

提供した試験問題等を複製（コピー）することは禁止されています。

### 3 特例作業

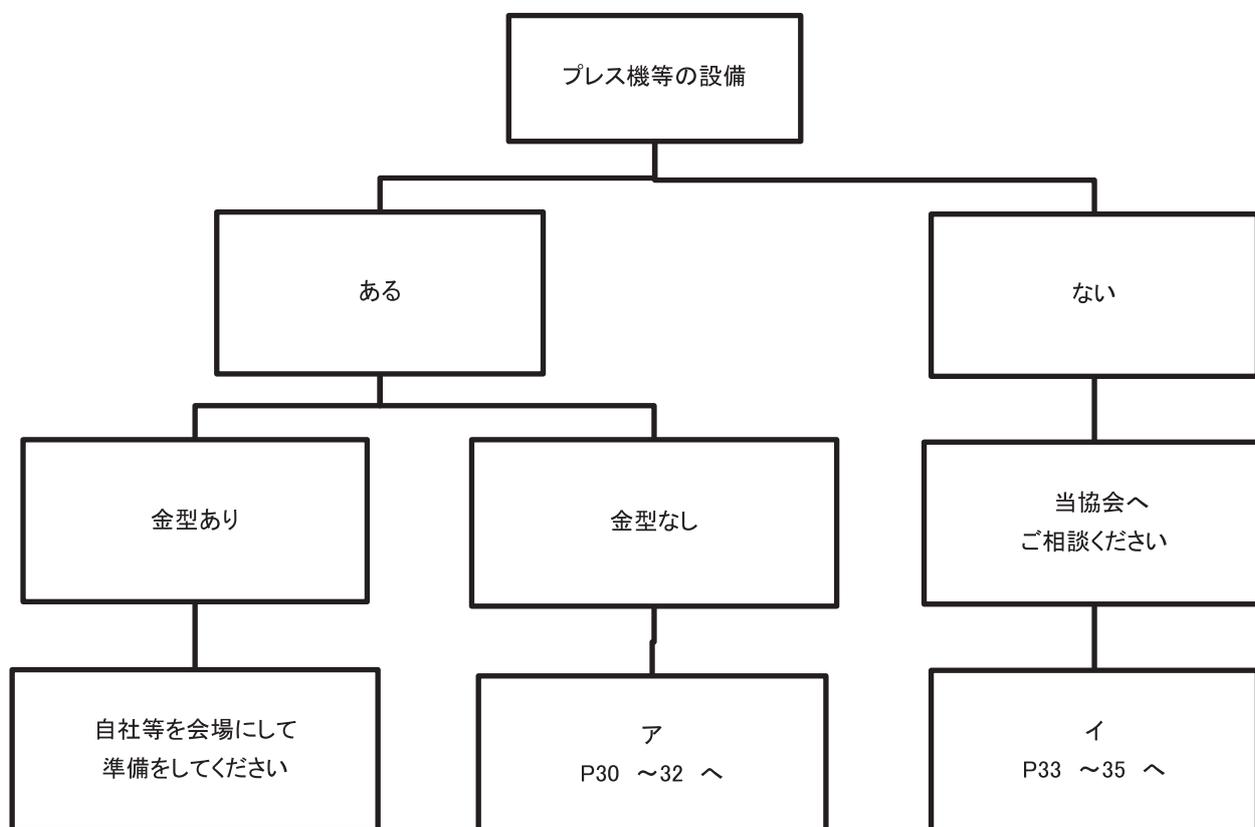
#### (1) 金属プレス作業

実技試験に使用する機械等は、原則として受入機関等で調達準備していただいておりますが、金属プレス作業については、機械や金型の準備がどうしてもできない場合は、当協会までご連絡ください。

試験適合プレス機がない場合は、当協会が実施する集合試験（当協会が試験会場を設定します）に参加することが可能であり、金型だけがが必要な場合は、当協会所有の金型の貸与を行います。（いずれも先着順です）

#### ご注意

- ・ 「金属プレス作業用金型物品貸出し要領」（P31）を必ずお読みください。
- ・ いずれの場合も、金型は当協会所有の物を使用しますので、会場の申し込みとは別に、当協会へ「借用願」を提出してください。
- ・ なお、借用願は必ず該当の書式を使用してください。



ア 各事業所を会場とする場合（機械はあるが金型が準備できない場合）

金型を準備することができない場合には、愛知県職業能力開発協会所有の金型物品を貸出しします。

\*\*\*\*\*

※ 試験実施日を電話予約する際に、金型物品借用の申込みをしていただき、速やかに借用願（P32）を提出してください。

※ 貸出し状況によっては、お貸しできない場合もあります。

※ **金型物品の受け渡し時間は、月曜日から金曜日の午前9時から午前11時30分までと午後1時30分から午後4時30分までとします。**

\*\*\*\*\*

愛知県職業能力開発協会所有  
金属プレス作業金型物品一覧

物 品 名 (型番)		個 数	備 考
バネ	SUP-6	1	
クッションパッド	SS400	2	
ダイホルダ	SS400	1	
パンチホルダ		1	
だんつなぎボルト		2	
クッションピン	SK4	4	
ボルト	SS400	1	

\*\*\*\*\*

愛知県職業能力開発協会 技能検定課 技能実習生試験担当

〒451-0035

愛知県名古屋市西区浅間二丁目3番14号

TEL：(052) 524-2039

FAX：(052) 325-5788

## 金属プレス作業用金型物品貸出し要領

愛知県職業能力開発協会

- 1 金型及び部品一式（以下「物品」という。）の貸出しは、随時試験金属プレス作業試験実施に関するものとする。
- 2 物品は技能検定実技試験の実施以外の目的に使用してはならない。
- 3 貸出料は無料とする。但し、車への積み降ろしを含め、物品の運搬については、貸出しを受ける者が行うこと。重量物なので取扱いに十分な配慮をすること。
- 4 物品の貸出しを希望するときは、あらかじめ別記様式により愛知県職業能力開発協会（以下「協会」という。）に申請をし、許可書の交付を受け、この要領に従って使用するものとする。
- 5 協会は許可の申請を受けたときは、その利用が適当と認められる場合には許可書を発行するとともに、物品の受け取り場所を指示する。
- 6 物品の受け渡しにあたっては、借用者（これから金型を借用しようとする者）は協会の発行した許可書を提示し、物品の瑕疵、付属部品の有無について確認を行うこととする。
- 7 借用者は協会に返還するまで適正に物品を保管するものとする。
- 8 借用期間中に物品が破損、紛失等した場合は、速やかに許可者である協会に連絡の上、借用者の責により弁償することとする。
- 9 返却する際には、貸出しを受けた状態で返却すること。

検定課長	課長補佐	担当者

コピーしてご利用ください

## 借 用 願

年 月 日

下記のとおり借用を申し込みます。

物品	金属プレス作業用金型一式 シャンク径 (φ38・φ50) ※どちらかに○
使用目的	随時技能検定試験金属プレス加工 (金属プレス作業) 実技試験の実施
試験実施日	年 月 日 ※試験終了次第、愛知県職業能力協会へご返却ください。
使用場所 (名称及び所在地)	
使用者 (願出者)	住 所 事業所・団体名 代表者氏名 印 電 話 ( ) ー 番
連絡先 ※担当者、電話番号等	
貸出条件	別添要領のとおり

## 許 可 書

金型番号

年 月 日

愛知県職業能力開発協会 印

上記借用願のとおり物品の使用を許可します。

### 【物品の引渡・返却場所等】

### 【物品の借用期間】

名 称 愛知県職業能力開発協会

所在地 名古屋市西区浅間二丁目3番14号

連絡先 Tel 052-524-2039

時 間 9:00~11:30、13:30~16:30

### 【協会使用欄】

引渡日	受取者	返却日	返却者

## イ 会場（プレス機）が準備できない場合

通常は、会場・技能検定委員等の準備は全て監理団体側で行っていただきますが、金属プレス作業の場合は、設備基準に合ったプレス機が準備できない方に対し、当協会が行っている集合試験方式の会場（愛知県立名古屋高等技術専門校）で受検いただける場合もあります。

どうしても**対応プレス機が用意できない場合は、日程に十分な余裕を持って当協会へご相談ください。**先着順に受け付けます。

この場合、機械や金型の調達は不要です。なお、事前練習はできません。

ご予約は次の手順により行ってください。

### (ア) 試験設定日の確認

当協会が設定している試験実施予定日（月ごとに数日当協会が設定します）を電話で御確認いただき、受入企業と試験日の調整を行ってください。試験会場の定員の範囲内でお申込みいただいた各社の実習生に対し、合同で試験を実施します。（受付は先着順、定員に達した時点で締め切ります。）

- ・ 学科試験は実技試験と同じ日に同施設内で実施します。
- ・ 技能検定委員は、当協会を選任します。
- ・ 会場・設備・金型の借用料は不要です。
- ・ 練習日の設定はできません。

### (イ) 受検の予約

受入企業との試験日の調整が済みましたら、電話で当協会に受検の予約を行ってください。

### (ウ) 金型の予約

当協会に集合試験用金型の借用願（P35）を提出してください。

## ご注意

- ・ 実技試験に必要な器工具等は準備しますが、**実技試験問題と受検人数分の支給材料、作業服等（作業帽、安全靴を含む）はご用意ください。**

**※ 支給材料については、必ず受検人数分をご持参ください。**

（材質・寸法・形状等は、実技試験実施要領で御確認ください。）

- ・ 学科試験の際の筆記用具等は、必ずご持参ください。

**※試験会場に集合時間よりもあまり早く来ないように調整ください。**

**到着したら1階で試験係員が来るまでお待ちください。**

## <集合試験会場のご案内>

【施設名】 愛知県立名古屋高等技術専門学校

【所在地】 〒462-0023 愛知県名古屋市北区安井二丁目4番48号

【電話番号】 052-917-6711

### 【交通案内】

➡ 公共交通機関をご利用ください。

地下鉄名城線「黒川」駅から市バスを利用する

地下鉄「黒川」駅4番出口を出て、市バス9番のりば(黒川郵便局前、国道41号沿い)から

[幹栄1系統(如意住宅行き・水分橋行き)]

[黒川11系統(如意車庫前行き・北部市場行き)]

[黒川12系統(中切町行き)]

のいずれかに乗車し「中切町四丁目」バス停で下車、東へ徒歩約500m

\* 市バス9番のりばからは、どのバスに乗っても「中切町四丁目」に停車します。



検定課長	課長補佐	担当者

コピーしてご利用ください

## 集合試験用金型借用願

年 月 日

下記のとおり借用を申し込みます。

物 品	金属プレス作業用金型物品一式
使 用 目 的	随時技能検定試験金属プレス加工（金属プレス作業）実技試験の実施
使 用 日	年 月 日
使 用 場 所	愛知県立名古屋高等技術専門校
使 用 者	住 所
( 願 出 者 )	事業所・団体名
	代表者氏名 印
	電 話 ( ) ー 番
貸 出 条 件	借用物品について、借用者の責により棄損、紛失等した場合は、速やかに許可者に連絡の上、弁償すること。

## 許 可 書

年 月 日

上記借用願いのとおり物品の使用を許可します。

愛知県職業能力開発協会 印

## (2) 集合試験方式で実施する作業（機械検査作業・射出成形作業）

次の2作業は指定する等級の試験を集合試験方式で、下記ア～オのとおり実施します。

機械検査（機械検査作業）・・・・・・・・・・ 随時2級・随時3級・基礎級

プラスチック成形（射出成形作業）・・・・・・・・ 基礎級

### ア 試験開始時間・日程

時間：原則として午前9時30分から

日程：調整の後、ご案内します。

### イ 会場

#### (ア)（随時2級・随時3級機械検査作業）

愛知県電機技術工学院

〒460-0007 名古屋市中区新栄二丁目45-40

電話 052-262-8583

#### (イ)（基礎級射出成形作業、基礎級機械検査作業、随時3級機械検査作業）

愛知県職業訓練会館

〒451-0035 名古屋市中区西区浅間二丁目3番14号

電話 052-524-2039

### ウ 技能検定委員

当協会が選任した技能検定委員が試験を担当します。

技能検定委員を推薦いただく必要はありません。

### エ 使用具等

#### (ア) 受検者が用意するもの

- ・ 実技試験問題、筆記用具 ・ 作業服及び作業に適した靴
- ・ プラスチック成形品1人3個（基礎級射出成形作業のみ）

実技試験実施要領を参考にA～Iまでマーキングをしてください。

#### (イ) 試験場に準備されているもの

器具工具等は会場側で準備します。

※ 使い慣れた工具を持参いただいても結構です。（両作業の基礎級のみ）

但し、**機械検査作業はアナログ工具を使用します。固定具は使用できません。**

**持参された工具の調整・設定はいたしません。**

### オ その他

- ・ 人数により複数回に分けて実施する場合があります。
- ・ 人数により2団体以上合同で実施する場合があります。

### (3) 実技試験材料のあっせん

下表の作業については実技試験材料等を販売する団体がありますのでご紹介します。  
 購入ご希望の場合は、直接団体に連絡してください。当協会は販売に関与しません。

④販売価格は変更になる場合があります

職種名等	あっせん 材 料	あっせん先	備 考
鋳造 (鋳鉄鋳物鋳造作業)	随時2級 アルミ型	一般社団法人日本鋳造協会 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館501号室	※試験実施日から2か月前までに申し込んでください。 ※別途申込書により注文してください。
鋳造 (鋳鉄鋳物鋳造作業)(非鉄金属鋳物鋳造作業)	随時3級 樹脂型	TEL 03-3432-2991 FAX 03-3433-7498 担当：鈴木	※試験実施日から2か月前までに申し込んでください。 ※別途申込書により注文してください。
めっき (電気めっき作業)	随時2級 随時3級 鋼板	東京都鍍金工業組合 〒113-0034 東京都文京区湯島1丁目11番10号 TEL：03-3814-5621 FAX：03-3816-6166 担当：宮部	※試験実施日から2～1か月前までに申し込んでください。 ※試験用鋼板は、当協会では準備し持参します。
	随時2級 治具材料	愛知県鍍金工業組合 〒454-0834 愛知県名古屋市中川区丸米町2丁目117番3号愛知県鍍金会館 TEL：052-352-0161 担当：宮田	※試験実施日から2～1か月前までに申し込んでください。 ※別途申込書により注文してください。
アルミニウム陽極酸化処理 (陽極酸化処理作業)	随時2級 支給材料	一般社団法人軽金属製品協会試験研究センター 〒302-0034 茨城県取手市戸頭9丁目18番3号 TEL：0297-78-2511 FAX：0297-78-2278 担当：廣原	※別途申込書により注文してください。
	随時2級 随時3級 基礎級	軽金属製品協会 〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目13番13号 アープセンタービル TEL：03-3583-7971(代表) FAX：03-3589-4574	試験会場の相談

職種名等	あっせん 材 料	あっせん先	備 考
電子機器組立て (電子機器組立て作業)	随時3級、 基礎級  支給材料	(株)三機 インターネット販売部門  〒456-0035 愛知県名古屋市熱田区白鳥一丁目4 番1号  TEL: 052-681-2163 FAX: 052-681-2140 http://www.e-monozo.com/	基礎級の申し込み形態は下記の2種類 A 支給材料一式 (1セット5名分) B 支給材料のうちプリント配線板のみ (5枚単位) ※試験実施日から3週間前までにネット 通販サイトで申し込んでくださ い。 ※電子部品については製造中止になっ た場合等、相当品に変更することが あります。
プリント配線板製造 (プリント配線板設計)	随時2級 随時3級  製図用紙等	いづみやアイシー神奈川株式会社  〒242-0021 神奈川県大和市中中央2-14-14  TEL: 052-681-2163 FAX: 052-681-2140  担当: 住吉氏	別途申込書により注文してください。
婦人子供服製造 (婦人子供既製服縫製作業)	基礎級	アパレルソーイング協同組合連合会  〒130-0012 東京都墨田区太平1丁目19番3号  TEL: 03-3624-4891 FAX: 03-3624-3872  担当: 事務局長 山端	検定用シートの発送につきましては、 ゴールデンウィーク、年末年始を除 き、お申し込み後一週間から10日程 度必要です。 ※別途申込書により注文してくださ い。 検定用シートの申込については、別途 ご注文書 (P41) をご利用ください。
紳士服製造 (紳士既製服製造作業)	ミシン基礎 技能訓練シ ート		
布はく縫製 (ワイシャツ製造作業)			
婦人子供服製造 (婦人子供既製服縫製作業)	随時3級 材料		
婦人子供服製造 (婦人子供既製服縫製作業)	随時2級 材料		
紙器・段ボール箱製造 (印刷箱打抜き作業)	随時2級 抜型、抜型 製作用フィ ルム、打ち 抜き用紙	全日本紙器段ボール箱工業組合連合 会  〒104-0041 東京都中央区新富1丁目15番12号 第三下村ビル3階  TEL: 03-3552-6531 FAX: 03-3552-6532  担当: 紫藤	※試験実施日から1か月前までに電話 で申し込んでください。 ※別途申込書により注文してくださ い。
紙器・段ボール箱製造 (印刷箱製箱作業)	随時2級 生地		
紙器・段ボール箱製造 (貼箱製造作業)	随時2級 身・ふた生 地、くるみ 紙		
紙器・段ボール箱製造 (段ボール箱製造作業)	随時2級 印版		

職種名等	あっせん 材 料	あっせん先	備 考
紙器・段ボール箱製造 (印刷箱打抜き作業) (印刷箱製箱作業) (貼箱製造作業) (段ボール箱製造作業)	随時3級、 基礎級 支給材料		※試験実施日から1か月前までに電話 で申し込んでください。
製本 (製本作業)	随時2級 試験用材料 (用紙及び 印刷物)	全日本製本工業組合連合会 〒173-0012 東京都板橋区大和町28番11号 TEL: 03-5248-2451 FAX: 03-5248-2455	※試験実施日から1か月前までに申し 込んでください。 ※別途申込書により注文してくださ い。
プラスチック成形 (圧縮成形作業)	基礎級  測定用成形 品	以下の2か所で購入できます。  ①圧縮・射出・ブロー材料 全日本プラスチック製品工業連合会 〒104-0045 東京都中央区築地3丁目12番5号 TEL: 03-3541-4321 FAX: 03-3541-4324  ②射出・ブロー材料 愛知県プラスチック成形工業組合 〒456-0058 名古屋市熱田区六番3-4-41 TEL: 052-654-8155 FAX: 052-654-8140	左記の①の場合 ○圧縮 1個当たり1,320円(消費税込み) ※試験実施日より1か月前までに申し 込んでください。 ※別途ご注文書(P43)により注文し てください。 ○射出 1個当たり330円(消費税込み) ○ブロー 1個当たり440円(消費税込み) ※試験実施日から1か月前までに申し 込んでください。 ※別途ご注文書(P43)により注文し てください。
プラスチック成形 (射出成形作業) (ブロー成形作業)	基礎級  測定用成形 品	※随時2級、随時3級射出成形作業の 練習用材料は①、②ともに販売してい ます。	左記の②の場合 ○射出 1個当たり330円(消費税込み) ○ブロー 1個当たり440円(消費税込み) ※試験実施日から1か月前までに申し 込んでください。 ※別紙「ご注文書」(P44)を使用し、F AXでご注文ください。  ※随時2級、随時3級射出成形作業の 試験用ポリスチレン成形品は当協会 で準備し、持参します。
パン製造 (パン製造作業)	随時2級 随時3級、 食型	川口板金株式会社 〒334-0076 埼玉県川口市本蓮4丁目2番32号 TEL: 048-282-0871 FAX: 048-283-2660 担当: 営業担当	※試験実施日より1か月前までに申 し込んでください。 ※別途ご注文書により注文してくださ い。

職種名等	あっせん 材 料	あっせん先	備 考
左官 (左官作業)	随時2級 a型既調合 薄塗りせつ こうプラス ター(特注 品:白色)	一般社団法人日本左官業組合連合会 〒162-0841 東京都新宿区払町 25-3 TEL: 03-3269-0560 FAX: 03-3269-3219	別途申込書により申し込んでください。なお、下記につきましては、特にご留意ください。 試験材料の申込みは、納品まで2週間～1ヶ月程度を要するので早めに申し込んでください。 試験材料の送料につきましては、着払いのみとなります。それ以外の方法は引き受けできませんのでご注意ください。 試験材料費(*材料の送料は着払い)につきましては、受取り後、1週間以内にお支払いください。
防水施工 (シーリング防水工事作業)	随時2級 随時3級、 基礎級  支給材料 試験架台	日本シーリング工事業協同組合連合会 〒135-0034 江東区永代2丁目33番6号 有沢ビル2F TEL: 03-3643-7901 担当: 白川	※試験実施日から1.5か月前までに申し込んでください。
ウェルポイント施工 (ウェルポイント工事作業)	随時2級 小型ノッチタンク 仮想観測井 (短管)、 水位測定器	一般社団法人日本ウェルポイント協会 〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町14-1第2田中ビル9階 TEL: 03-3226-6221 FAX: 03-3226-6330 担当: 会長 伊東氏	※試験実施日より1か月前までに申し込んでください。 材料はレンタル品となります。使用后ご返却ください。 ※別途ご注文書により注文してください。

コピーしてご利用ください。

FAX 03-3624-3872

TEL 03-3624-4891

## アパレルソーイング協同組合連合会御中

### ご注文書

シートの内容	ご注文数	配達指定
①基礎級婦人子供服製造用 検定シート（1袋、各10枚入り）	袋	・至急便 （日迄） ・普通便
②基礎級紳士服製造用 検定シート（1袋、各10枚入り）	袋	・至急便 （日迄） ・普通便
③基礎級布はく縫製用 検定シート（1袋、各10枚入り）	袋	・至急便 （日迄） ・普通便
④5種類入り訓練シート （1袋、各10枚入り）	袋	・至急便 （日迄） ・普通便
⑤随時3級婦人子供服製造用 検定材料	個	・至急便 （日迄） ・普通便
⑥随時2級婦人子供服製造用 検定材料	個	・至急便 （日迄） ・普通便

令和 年 月 日

◎発注者

企業・団体名

住所 〒

電話番号

ファックス番号

担当者

※代引きでお願いしております関係上、送付先が上記、発注者と異なるときは下記にご記入ください。

送付先の企業・団体名

// 住所 〒

// 電話番号・ファックス番号

// 担当者

◎ご請求書の請求先

## 基礎級プラスチック成形職種（圧縮成形・射出成形・ブロー成形作業）に係る 支給材料（試験用、練習用）のあっせんについて

材料の注文に当たっては下記にご注意ください。  
ご不明な点は前記各団体にお問い合わせください。

### 1 発注期日について

実施要領記載のとおり、材料は試験実施の1か月前までにお申し込みください。試験までの日数が1か月未満の場合、又は代金入金が試験実施日に近い場合、対応できない場合がありますのでご注意ください。

### 2 発注方法について

ご注文に当たっては、必ず43、44ページの様式をご使用の上FAXでご注文ください。電話のみでの注文は受け付けておりませんのでご注意ください。  
また、圧縮作業、射出作業、ブロー作業では材料の種類が異なります。注文の際は、お間違えのないようご注意ください。

### 3 材料の発送について

材料の発送は、代金の入金確認後の翌週となります。注文後に発行される請求書により、速やかにお支払いください。  
なお、1週間経っても請求書が届かない場合は、お手数ですが、ご注文書に「再FAX」と記載の上、再度ご注文ください。

### 4 材料の値段について

材料の値段は、圧縮材料は1個1,320円、射出材料は1個330円、ブロー材料は1個440円（消費税込み）、送料は着払いとなります。

### 5 その他

練習用随時2級、随時3級実技試験材料も同じ申込書で注文できます。  
材料の注文以外の内容については、愛知県職業能力開発協会（電話052-524-2039）へお問い合わせください。

年 月 日

FAX 03-3541-4324

TEL 03-3541-4321

全日本プラスチック製品工業連合会 御中

注 文 書

■ご注文にあたっては、下記にご注意ください。

- ① ご注文は、試験日の1か月前までに、必ず本用紙をご使用の上、申し込みください。
- ② 材料は、代金の入金確認後の発送となります。

受検申請先協会（都道府県名をご記入の上、都/道/府/県いずれかに○をつけてください。）		
都 / 道 / 府 / 県 職業能力開発協会		
材料の種類 (該当する級・作業名をそれぞれ○で囲む)		個数
基礎級	圧縮（フェノール樹脂）・射出（ABS樹脂） ブロー（高密度ポリエチレン樹脂）	(受検者1人当たり3個必要) <b>個</b>
随時3級	射出（ポリスチレン樹脂） ブロー（低密度ポリエチレン樹脂）	(受検者1人当たり1個必要) <b>個</b>
随時2級	射出（ポリスチレン樹脂）	(受検者1人当たり1個必要) <b>個</b>

【請求書送付先】

協会名又は 会社名			
担当者	(役職)	(氏名)	
所在地	〒 _____		
電 話		FAX	

【材 料 送 付 先】 ※上記と異なる場合のみ記入ください。

協会名又は 会社名			
担当者	(役職)	(氏名)	
所在地	〒 _____		
電 話		FAX	

年 月 日

FAX 052-654-8140

TEL 052-654-8155

愛知県プラスチック成形工業組合 御中

注 文 書

材料の種類 (該当する級・作業名をそれぞれ○で囲む)		個数
基礎級	射出 (ABS樹脂)・ブロー (高密度ポリエチレン樹脂)	(受検者1人当たり3個必要) 個
随時3級	射出 (ポリスチレン樹脂) ブロー (低密度ポリエチレン樹脂)	(受検者1人当たり1個必要) 個
随時2級	射出 (ポリスチレン樹脂)	(受検者1人当たり1個必要) 個

※ ご注意

- ① ご注文は、愛知県プラスチック成形工業組合に電話で在庫確認をした上、試験日の一か月前までに、必ず本用紙を使用の上、お申し込みください。
- ② 材料は代金の入金確認後の発送となります。
- ③ 材料の値段は、射出作業1個330円、ブロー1個440円(消費税込み)です。

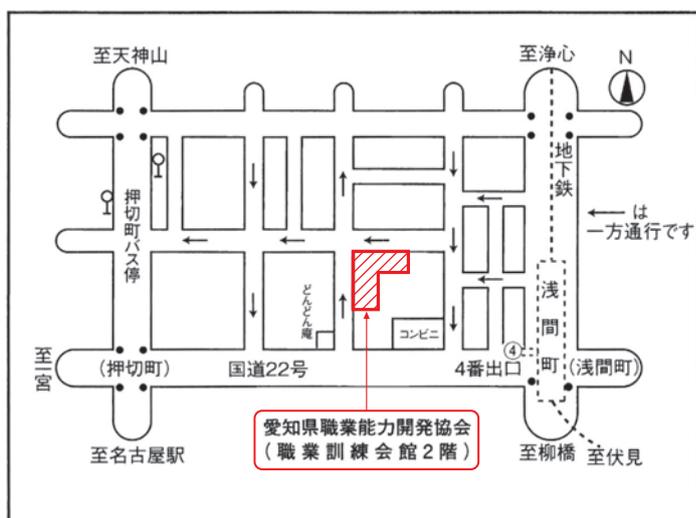
【請求書送付先】

団体名又は 会社名	
担当者	(役職) (氏名)
所在地	〒
電話・FAX	電話 FAX

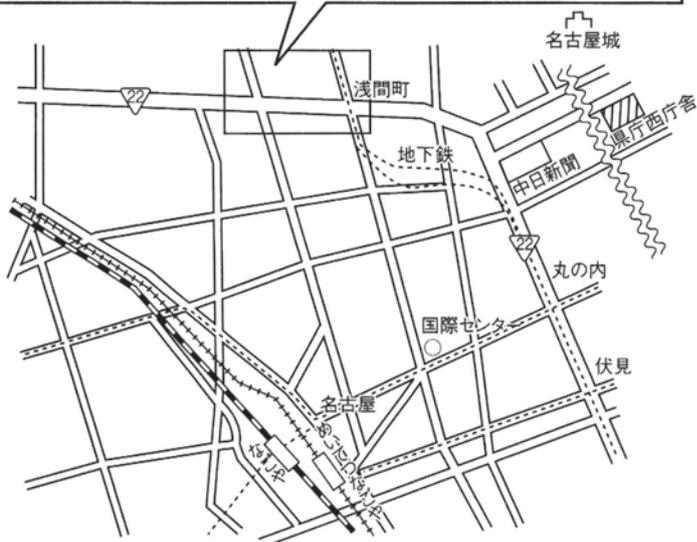
【材料送付先】

団体名又は 会社名	
担当者	(役職) (氏名)
所在地	〒
電話・FAX	電話 FAX

# 愛知県職業能力開発協会



- 地下鉄  
鶴舞線「浅間町」下車  
4番出口から徒歩5分
- 市バス  
名古屋駅バスターミナル  
7番のりば  
黒川行  
茶屋ヶ坂行  
浄心町行  
西部医療センター行  
(4区目) 押切町 下車  
徒歩5分



## ◎申請書提出先及び問合せ先 愛知県職業能力開発協会 技能検定課

〒451-0035 名古屋市西区浅間二丁目3番14号  
愛知県職業訓練会館内  
電話 052-524-2039 (直通)  
FAX 052-325-5788



**AICHI**  
2019-2020



その技に 誇りと感動 あいちから